



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月29日

上場会社名 日本システムウエア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9739 URL <https://www.nsw.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 多田 尚二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 須賀 譲 (TEL) 03-3770-1111  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,899	7.0	689	64.7	693	59.4	469	73.8
2019年3月期第1四半期	7,383	3.8	418	△18.0	435	△15.4	269	△22.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 471百万円(75.5%) 2019年3月期第1四半期 268百万円(△22.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	31.49	—
2019年3月期第1四半期	18.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	26,828	19,406	72.3
2019年3月期	28,211	19,196	68.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,406百万円 2019年3月期 19,196百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,600	5.1	1,480	5.0	1,500	4.4	1,000	4.8	67.12
通期	38,000	5.2	3,500	4.3	3,540	3.9	2,400	5.0	161.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数総数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	14,900,000株	2019年3月期	14,900,000株
2020年3月期1Q	395株	2019年3月期	352株
2020年3月期1Q	14,899,630株	2019年3月期1Q	14,899,678株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な企業収益や雇用環境を背景に緩やかな回復基調を維持しつつも、米中の貿易摩擦による世界経済の不確実性などにより依然として先行き不透明な状況で推移しております。

情報サービス産業界におきましては、企業のIT投資は堅調に推移しており、IoT、AI、5Gなどのデジタル技術を活用し、ビジネスプロセスや業務プロセスを柔軟に変えていくデジタルトランスフォーメーション（DX、デジタル変革）や働き方改革などへの取り組みが本格化しております。

このような状況の下、当社グループは、当連結会計年度より新たな中期経営計画（2019年4月～2022年3月）をスタートしました。「DX FIRST」をスローガンに、長年培ってきた業務ノウハウや技術力とさまざまな実現手段を組み合わせることによって、お客様のビジネスモデル変革と業務プロセス改革に貢献し、お客様のDX実現を先導する企業として事業成長を加速してまいります。今後は、これまで取り組んできたIoT・AIサービスを基にした事業の拡大を図るとともに、現在の収益基盤をより確固たるものにするため、受託型から提案型へ、開発からソリューション、サービスへ軸足を移したビジネスを展開してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は75億37百万円（前年同四半期比13.1%増）、売上高は78億99百万円（同7.0%増）、営業利益は6億89百万円（同64.7%増）、経常利益は6億93百万円（同59.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億69百万円（同73.8%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前第1四半期連結累計期間との比較は変更後の区分に基づいております。

#### <ITソリューション>

売上高につきましては、官公庁・団体向けをはじめとした各業種向けシステム開発案件が伸長し増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増、一部の大型案件や自社パッケージによる収益性向上、不採算案件の解消により増益となりました。これらの結果、受注高は23億18百万円（前年同四半期比28.7%増）、売上高は23億73百万円（同12.2%増）、営業利益は2億5百万円（同637.5%増）となりました。

#### <サービスソリューション>

売上高につきましては、デジタルソリューションにおけるWeb・ECサービスやクラウド・インフラサービスの拡大により増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増に加え、クラウド・インフラサービスやIoT関連サービスの収益性改善により増益となりました。これらの結果、受注高は19億48百万円（前年同四半期比48.9%増）、売上高は21億3百万円（同7.2%増）、営業利益は72百万円（前年同四半期は営業損失8百万円）となりました。

#### <プロダクトソリューション>

売上高につきましては、組込みソフトウェア開発事業における設備機器分野やデバイス開発事業の拡大により増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増により増益となりました。これらの結果、受注高は32億70百万円（前年同四半期比8.0%減）、売上高は34億22百万円（同3.5%増）、営業利益は4億11百万円（同3.2%増）となりました。

なお、受注高につきましては、一部の案件における契約期間の変更に伴い前年同四半期比で減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、268億28百万円となり、前連結会計年度末比13億83百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加（5億99百万円）、仕掛品の増加（8億26百万円）があったものの、受取手形及び売掛金の減少（30億49百万円）があったことによるものです。

総負債は、74億21百万円となり、前連結会計年度末比15億94百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少（8億92百万円）及び賞与引当金の減少（8億49百万円）があったことによるものです。

純資産は、194億6百万円となり、前連結会計年度末比2億10百万円の増加となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、配当金の支払などの支出を営業活動によるキャッシュ・フローで賄い、前連結会計年度末と比べ5億99百万円増加し、90億2百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の活動別概況は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、9億13百万円（前年同四半期比3億99百万円の収入の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億93百万円に対し売上債権の減少額30億56百万円、たな卸資産の増加額9億71百万円、賞与引当金の減少額8億49百万円があったことに加え、法人税等の支払額8億13百万円があったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、60百万円（前年同四半期比57百万円の支出の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出22百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億54百万円（前年同四半期比34百万円の支出の増加）となりました。これは主に、配当金の支払額2億53百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に発表しました業績予想に対し概ね計画通り進捗しており、変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,410	9,010
受取手形及び売掛金	9,409	6,360
電子記録債権	239	232
商品	349	495
仕掛品	748	1,575
貯蔵品	3	1
その他	234	616
流動資産合計	19,395	18,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,226	2,161
工具、器具及び備品（純額）	305	292
土地	3,861	3,861
その他（純額）	14	13
有形固定資産合計	6,407	6,328
無形固定資産		
ソフトウェア	104	97
その他	31	30
無形固定資産合計	135	128
投資その他の資産		
投資有価証券	30	31
繰延税金資産	1,203	985
その他	1,051	1,073
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	2,273	2,078
固定資産合計	8,816	8,535
資産合計	28,211	26,828

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,412	2,104
未払法人税等	951	59
未払消費税等	395	284
賞与引当金	1,268	419
製品保証引当金	19	—
その他	1,731	2,287
流動負債合計	6,779	5,154
固定負債		
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	2,178	2,210
その他	55	54
固定負債合計	2,235	2,266
負債合計	9,015	7,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	86	86
利益剰余金	13,602	13,811
自己株式	△0	△0
株主資本合計	19,188	19,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	4
為替換算調整勘定	12	13
退職給付に係る調整累計額	△7	△7
その他の包括利益累計額合計	7	10
純資産合計	19,196	19,406
負債純資産合計	28,211	26,828

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,383	7,899
売上原価	6,154	6,372
売上総利益	1,228	1,527
販売費及び一般管理費		
役員報酬	30	32
執行役員報酬	38	45
給料及び賞与	356	354
退職給付費用	14	19
福利厚生費	67	69
通信交通費	38	46
業務委託費	39	53
賃借料	30	28
その他	193	187
販売費及び一般管理費合計	810	837
営業利益	418	689
営業外収益		
受取賃貸料	1	1
助成金収入	2	3
その他	13	2
営業外収益合計	17	7
営業外費用		
為替差損	—	3
その他	0	0
営業外費用合計	0	3
経常利益	435	693
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	434	693
法人税、住民税及び事業税	6	6
過年度法人税等	10	—
法人税等調整額	148	217
法人税等合計	164	224
四半期純利益	269	469
親会社株主に帰属する四半期純利益	269	469



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	269	469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△1	1
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△1	2
四半期包括利益	268	471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	268	471

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	434	693
減価償却費	112	115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△587	△849
工事損失引当金の増減額(△は減少)	51	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30	31
売上債権の増減額(△は増加)	2,260	3,056
たな卸資産の増減額(△は増加)	△848	△971
仕入債務の増減額(△は減少)	△273	△307
前受金の増減額(△は減少)	72	71
未払消費税等の増減額(△は減少)	△152	△111
その他	△69	17
小計	1,026	1,727
法人税等の支払額	△512	△813
その他	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	513	913
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△26	△22
無形固定資産の取得による支出	△40	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△7	△3
保険積立金の積立による支出	△2	△2
その他	△41	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117	△60
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△216	△253
その他	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220	△254
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	173	599
現金及び現金同等物の期首残高	6,593	8,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,767	9,002

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	IT ソリューション	サービス ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高				
外部顧客への売上高	2,385	1,614	3,382	7,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	△270	347	△77	—
計	2,115	1,961	3,305	7,383
セグメント利益又は損失(△)	27	△8	398	418

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	IT ソリューション	サービス ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高				
外部顧客への売上高	2,579	1,807	3,512	7,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	△206	296	△89	—
計	2,373	2,103	3,422	7,899
セグメント利益	205	72	411	689

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画のスタートにあわせて事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「ITソリューション」「プロダクトソリューション」から、「ITソリューション」「サービスソリューション」「プロダクトソリューション」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。